

岩手教区報

第367号
 立教186年7月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



子供たちを夏のおぢばへ 少年会会長 佐野喜与志



令和2年から中止を余儀なくされていた、「こどもおぢばがえり」が、この夏、4年ぶりに開催される事になりました。振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和2年の「こどもおぢばがえり」が中止となったことから始まり、翌3年もまだ開催できず状況ではなく、各地で実施できる、「夏休みこどもひのきしん」やおぢばでの「こどもひのきしん」を提唱して頂きました。さらに昨年は、ひのきしんだけではなく、お楽しみ行事や、学びの場を用意してくださいました。そして、今年開催される「こどもおぢばがえり」は、行事会場はこれまでの3分の1程度になり、夜の統一行事もありませんが、期間が1日延ばされ11日間での開催となり、土曜、日曜が2回含まれることになりました。

この3年間、「こどもおぢばがえり」が開催されない中、その歴史を振り返り、「こどもおぢばがえり」に込められた、をやるの思いを思案させて頂くことが度々ありました。

昭和31年から本部主催の全教行事として毎年実施された「こどもおぢばがえり」が、これまで数多くの方々の熱い思いが込められて、60余年も続いてきた

事、中止となって初めて気づかせて頂いた開催されることの喜び、またそれは当たり前のことではなかった事、そして大いなる親神様のご守護と教祖の親心をいっただいて今日に至るのかを、改めて思い返す機会を与えて頂いた気がいたします。

今年、教祖140年祭へ向かう三年千日の歩み出しの年であります。1年目にふさわしい動きとなるためにも、まずは、「こどもおぢばがえり」に全教会から一人でも多くの子供たちに帰って頂きたいと思えます。また私たちが育成者は、その後押しに力を注いでいかなければならない責務もあると思うのです。

岩手教区団では、今年も少年ひのきしん隊本部練成会に参加させて頂きます。期間は、昨年の1泊2日から3泊4日と日数が増やされ、本来の本部練成会のプログラムにより近づいてきました。部活等で忙しい中ですが、中学生の皆さんに一人でも多く参加して頂き、ひのきしんや行事参加を通して、少年ひのきしん隊の合言葉である、「人のため つくすよるこび ひろげよう」を体感してもらいたいと思っています。

この夏、たくさんの少年会員をおぢばに導き、ご存命の教祖にお喜び頂きましょう。



災 救 隊

「教区訓練」実施報告

災害救援ひのきしん隊岩手教区隊は、5月29日(月)、30日(火)の両日、県南支部の住田町滝観洞周辺を会場に、本年度の教区訓練を実施し、女子16人を含む50人(延べ98人)の隊員が参加した。

29日午前9時過ぎ、滝観洞前の広場に県内各地から隊員らが次々と参集。結隊式では、点呼、遥拝のあと、千葉道雄・災救援岩手教区隊長が歓迎の言葉を述べ、続いて来賓の武谷栄則・災救援本部主事、金野千津・住田町社会福祉協議会事務局長、千葉孝文・住田観光開発(株)常務取締役がそれぞれ挨拶に立たれた。次に班長が任命され、村松義朗隊員による宣誓唱和、隊歌斉唱と続いた。

今回の現場は、滝観洞の向かい側の山に位置する白蓮洞の出入口周辺となった。小雨が時折降る初日は、隊員が4個班に分かれ、長年手つかずの急峻な遊歩道をレーキやスコップを使って堆積物を撤去し、斜面の下草刈りと樹木の伐採や片付けを行い、さらに隣接する広場と道路脇の刈払いと堆積した腐葉土と土砂の撤去



も実施した。一方女子班は、昼食場所として借用した旧観光センターの一室と屋外トイレの清掃作業を行った。翌30日は、前日の作業の続きに加えて、遊歩道脇にある山小屋の解体と分別を行い、午前11時半、与えられた作業は概ね完了した。

解散式では、藤田勇夫隊員が作業報告を行った後、鈴木眞彦教区長が労いの言葉を述べた。続いて、挨拶に立たれた金野事務局長と千葉常務取締役は、災救援の活動に理解と賛辞を示され、「有事の際には是非とも住田町にお越し頂きたい」と話された。次いで各班長から腕章が返還された後、千葉隊長が総括とお礼の挨拶があり、最後に、炊事ひのきしんに尽力して頂いた婦人会の皆さんに、参加者全員でお礼の拍手を送り、午前12時30分解散となった。

(作業内容)

- ・草刈り3495㎡(遊歩道、広場、道路脇)
 - ・遊歩道整備(土砂樹木除去) 400m
 - ・腐葉土及び土砂除去1トン
 - ・旧観光センター食堂及び屋外トイレ一棟清掃
 - ・山小屋一棟解体撤去
- (支部別参加者数)
 九戸9人、二戸5人、盛岡6人、三陸5人、花巻4人、奥州6人、県南15人、計50人(延べ98人)

行事予定 [7月分]

- 1日 学生層育成者講習会(10時)
- ” 学生担当委員会例会(講習会終了後)
- ” 役員会(11時)
- 8日 教区報編集会議(18時)
- 15日 青年会例会(19時)
- 16日 教区献血ひのきしん(9時)
- 23日 少年ひのきしん隊教区練成会(10時)
- ” 女子青年例会(10時)
- ” 少年会例会(12時)
- 27日 少年ひのきしん隊本部練成会(8月2日)
- 31日 主事会(15時)



少年会

「立教186年こどもおぢばがえり」

4年ぶりとなる今年の「こどもおぢばがえり」は、7月27日から8月6日までの11日間開催されます。期間中には、「しこみ・ふせこみ行事」と「おたのしみ行事」が親里各所で催されます。

◎留意点

- ・今年の「こどもおぢばがえり」は、インターネットでの申し込みとなります。
- ・全教会に割り当てられる教会IDで、帰参予定人数とカレー食数の申し込みをしてみてください。
- ・カレー食の申し込みは7月1日から20日まで。食数が上限に達した場合は、カレー食の申し込みができなくなります。
- ・行事参加の事前申し込みはありません。帰参当日に、各会場で受付をしてください。
- ・これまでの「こどもおぢばがえり」とは異なる点が多数あります。要項をしっかりと確認してください。

少年会本部では、詰所で宿泊する隊に子供連れで教会本部の夕づとめに参拝するよう呼びかけています。夕づとめ後には、南参道にイルミネーションを設け、子供たちが詰所へ戻る時間帯に、参道のライトアップを実施する予定です。なお、プール会場、おやすとパレードはありませんのでご注意ください。

「立教186年少年ひのきしん隊」

本部練成会合同隊

- 対象 わかぎ(中学1年生～3年生)
- 募集 男子7人、女子7人
- 参加費 2万円
- 内容 ひのきしん、行事参加など
- 日程 7月27日～8月2日
- 宿舎 梅谷詰所、旧あらか寮
- 携行品 保険証、洗面具、お風呂セット、着替え、汗拭きタオル、筆記具、水筒、リュック等。
- 申込み 各支部育成委員長又は、少ひ隊教区担当者久保迄。
- ※7月23日10時から教務支庁において教区練成会を行います。
- ※詳しくは別紙募集要項を参照して下さい。



青年会

「青年会ひのきしん」実施報告

教区青年会では、6月11日(日)、一関市大東町の摺沢農村公園を会場に、「青年会ひのきしん」を実施し、青年会員ら5人が参加した。

午前9時から公園の草刈りひのきしんに取り掛かり、11時に終了。続いて摺沢分教会に現場を移し、教会前の耕作放棄地5面の草刈りを実施し、12時にはひのきしんが全て終了した。最後に現場責任者である鈴木眞浩摺沢分教会長からお礼の挨拶があり、昼食後解散となった。



教区青年会では、会活動の一環として教区管内において、様々なひのきしんの依頼を随時募集しております。詳しくは村松委員長迄ご相談下さい。



道の教職員の集い

「第48回総会及び第2回講演会」報告

第2回講演会

道の教職員の集いは、6月4日(日)、教務支庁を会場に、「第48回総会及び第2回講演会」を開催した。

午前の講演会には、会場10人、オンライン12人の参加者があった。本会員でもある岩手大学名誉教授の吉澤正人氏(ノイエ・ヴェルト布教所長)が講師をつとめ、「元の理と物理学」をテーマとして話された。氏は、「元の理の中の五尺の身体は、地球の大きさと関係し、それが文明を作る基となっている」とし、菊池雄星選手と大谷翔平選手の対決になぞらえて、様々な例を挙げられた。さらに氏は、十全の御守護と化学・物理学の相互作用によって日常生活を送っている事なども話された。

続いて開催した総会には、5人が参加した。「夏の勉強会」と「陽気フォーラム」の開催を再確認するなど、終始和やかな中に、今後の活動への思いを新たにしたい総会となった。なお、総会及び講演会は、来年度も開催する予定。



学生担当委員会

「新入生歓迎会」開催報告

教区学生会は、5月21日(日)、教務支庁において「新入生歓迎会」を開催し、学生3人、担当者4人が参加した。

はじめに鈴木眞浩学担委員長が、「同年代の仲間が、お道の信仰を通して互いに成長(成人)し合う場としてほしい」と話され、続いてお道の言葉を用いたワークを行った。

昼食は全員でバーベキューを囲んで和やかに過ごし、午後は中庭の草取りなどのひのきしんを行い、今後の会活動を盛り上げていくことを確認し合い、解散となった。



教区献血ひのきしん

実施日 7月16日(日)

献血会場 教務支庁

受付時間 9時～15時

救急法講習会 10時～11時

※記念品やバザー、出張販売など用意しておりますので、多くのご参加をお待ちしております。なお講習会受講は無料です。

「陽気ぐらし講座」開催予定(7月分)

奥州 9日(日) 金ヶ崎町中央生涯教育センター 10時30分

奥州 9日(日) 岩栄原分教会 13時30分
テーマ「幸せを感じるために」
〔講師 白熊繁一先生〕

計報

土内 ハツエ 「95歳」
九戸支部・岩泉分教会3代会長
令和5年5月23日出直された。